## 特定農林水產物等登録簿

特定農林水産物等登録簿				
登録番号	第 114	4 号	登録年月日	令和4年2月3日(2022年2月3日)
申請番号	第 234	4 号	申請年月日	令和2年1月14日(2020年1月14日)
特定農林水産物等の 区分		第四類 水産物類 貝類 (エゾイシカゲガイ)		
特定農林水産物等の 名称		広田湾産イシカゲ貝(ヒロタワンサンイシカゲガイ)、 Hirotawansan Ishikagegai		
特定農林水産物等の 生産地		岩手県陸前高田市広田湾		
特定農林水産物等の特性		がお分で独良寿あ外りを令い自「く司	の、は一般では、は、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のでは、のでは、のでは、のでは	カゲ貝」は、広田湾で採苗・養殖した、弾力味が特徴のエゾイシカゲガイである。 色合いは濃い赤茶色で、形はふっくらとして体部のほとんどを占めるクリーム色の足の部では、遊離アミノ酸の割合が高い。 エゾイシカゲガイの養殖を産業レベルで行っのみであり、自然環境を活かした養殖技術は、たものである。 たものである。 カゲ貝」は、卸売市場関係者から、「鮮度ががあり、希少価値が高く、都内の高級料亭やいあい。」と高い評価を受けてまる。
特定農林水産生産の方法	物等の	る(1) (2) (3) (4) 死(5) 正) 生) 滅) 殻貝) 「	対が養産詳萄出長及長広村が養産洋園出長及長広村の保水方5欠製湾が近路流け品産がは出産がより、以たとイー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、専用容器により養殖する。 出荷する。 のものを目安に選別し、目視やにおいにより を取り除き出荷する。
特定農林水産特性がその生主とのであるこ由	産地に	沿通が行れていた。	南端の陸前高 豊富な栄養分れ 田湾では、昭和 スプランク 昭和 49 年頃か いし、海水温	カゲ貝」の養殖漁場となる広田湾は、岩手県田市にあり、北にある氷上山麓から気仙川をが流れ込んでいる。 和30年頃からワカメやコンブの養殖が盛んにトンが豊富なため、昭和47年頃からホタテガいらはカキの養殖も行われてきた。の上昇等により貝類の安定的な養殖の継続がため、付加価値の高い貝類の養殖について検

討してきた平成4年頃、広田湾でエゾイシカゲガイの天然の稚 貝を発見し、養殖技術の研究を重ね、広田湾が内湾であり、波 が静かでエゾイシカゲガイの養殖に適すことがわかった。

平成5年にリアス式海岸の地形を活かし、天然の稚貝の採苗、砂を入れたタライを海中に吊るして行う養殖技術が確立し、平成8年に全国で初めて、本格的な養殖生産がスタートした。

漁業者を中心に関係機関が連携し、採苗から出荷まで約2年半かけて養殖し、厳しく選別し出荷している。

### 特定農林水産物等が その生産地において 生産されてきた実績

エゾイシカゲガイの養殖は、広田湾で平成8年より全国で初めてスタートした。平成10年の生産量は、約500kgであったが、平成22年には約37tまで増加した。

しかし、平成 23 年に東日本大震災の津波により、漁船や養殖施設、資材等が流され壊滅的な被害を受けた出荷できない年もあったが、漁業者を中心に関係機関の努力により再起を図り、平成27 年には 32 t、平成 30 年には 53 t まで生産量が回復した。

「広田湾産イシカゲ貝」は、平成 26 年全国漁業協同組合連合会により、漁師が選んだ本当においしい魚「プライドフィッシュ」に選定されている。

また、陸前高田市では、平成 27 年のふるさと納税開始当初から返礼品に採用しており、地域になくてはならない地域ブランド産品となっている。

# 規則第5条第2項各号に掲げる事項

法第13条第1項第4号ロの該当の有無:該当しない

商標権者の氏名又は名称:一

登録商標:一

指定商品又は指定役務:一

商標登録の登録番号:一

商標権の設定の登録及び存続期間の満了の年月日(当該商標権の存続期間の更新登録があったときは、当該商標権の存続期間の更新登録及びその存続期間の満了の年月日についても記載する。): 一

専用使用権者の氏名又は名称: 一 商標権者等の承諾の年月日: 一

### 登録生産者団体の名 称及び住所並びに代 表者の氏名

広田湾漁業協同組合 岩手県陸前高田市広田町字泊 102 番地 4 代表理事組合長 砂田 光保

#### 備考

(注)登録事項の変更があった場合には、変更年月日及び変更に係る事項の概要を記載 する。